

# 寝屋川民報

議会版

発行  
日本共産党  
寝屋川市議員団  
824-1181  
(内線 2399)  
FAX No. 824-7760  
Email: jcpnc@cc-net.or.jp  
No. 2008

田中 ひさ子  
田松町10-36  
☎823-1714

寺本 とも子  
豊里町38-1-105  
☎829-9424

中林 かずえ  
宝町4-33  
☎839-2289

中谷 光夫  
高宮2-19-5  
☎823-5947

松尾 信次  
下木町12-5  
☎821-7427

## 大阪地裁で津田教授 (岡山大) が証言

### 廃プラ工場と健康被害の相関

#### 原告住民、操業 差し止めを求め

二月六日、「廃プラ処理による公害から健康と環境を守る会」の住民が訴えている大阪地裁での裁判がありま

した。今回は、環境疫学と環境学を専門とする二人の学者が証言する重要な場となりました。日本共産党の中谷光夫、松尾信次議員が傍聴しました。

午前中は、岡山大学の津田敏秀教授が、民間の廃プラスチック再処理工場からの曝露と住民の症状との関連を疫学調査した結果に基づいて証言しました。津田教授は、統計学を使った疫学の役割を述べ、水俣病や杉並病などの各地の公害の調査に携わってきたこと

を紹介しました。今回の調査は、昨年七月下旬〜八月月上旬に実施した健康アンケートに答えた住民五千人の内から、民間工場か

#### 工場に近く、昼間 在宅住民に高い発症

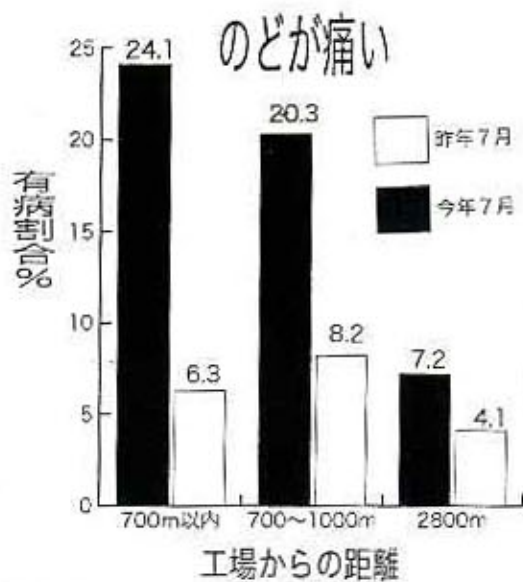
津田教授は、調査を科学的におこなったと答えた後、調査報告書の内容の結論として、①平成十七年よりも工場が本格稼働を始めた平成十八年の方が、工場に近いほど発症しやすかった。②昼間在宅の人ほど、様々な症状を発症しやすかった。③旅行などで数日居住地を離れると症状が改善するが、帰宅すると再発するという訴えがある。④一から、工場の操業と健康被害の因果関係を強く示している」と述べました。

ら一直線上に七百以以内(六〇五人)、七百以から千以以内(八一九人)、二千八百以(七一人)の三つの地域を比較しました。

の痛み五、八倍▼眼脂四、六倍▼湿疹十二、四倍▼皮膚のかゆみ四、三倍▼胸の締めつけ四、四倍などの高率で症状が出ています。津田教授は、眼のかゆみや湿疹は、杉並病と比べてもかなり高いと指摘しました。行政による健康調査、安全対策が強く求められています。

#### 視界

二月五日に日本共産党の演説会が大阪城ホールでありました。初めて志位委員長の話をお聴きの方から感想を聞くことができました。今まで共産党に対して持っていたイメージと全然違っていたと冷たくて固いと思っていたことが、暖かくて明るく自由で、というものでした。私たちが思う以上に、日本共産党の実際とは違う描き方、報道、風説が、広く国民の中に影響を与えています▼当日は、大阪府や大阪市のかつはつれのみだづかいの紹介に驚きました。関空二期工事は有名ですが、六三五億円かけた夢舞大橋が、目的の巨大船を通したことがないこと。六九五四億円かけたたりんくうタウンの失敗。すでに七五〇億円の赤字必至の箕面の滝も枯らしたニュータウン計画。不公正な同和行政の事件など▼一方で、国の悪政に追いつけをかけるように、福祉や教育の後退が進められています。寝屋川市の一般会計の四十倍をこえる府の財政の使い方をかえれば、府民のくらしを守る事ができます。来春の知事選の前哨戦、四月の府会選挙で、自民・公明・民主の「オール与党」政治に、この寝屋川でも審判を下しましょう。



府・市政懇談会  
とき：2月23 (金) 午後7時～  
ところ：市民会館3階第6会議室  
主催：日本共産党寝屋川市議員団